ひょうご国際ビジネスサポートデスク通信

2025.7 月号
vol.32

50年目の解放記念日 ― ベトナムがひとつになる日

ホーチミンデスク　浅井　崇氏

統制と祝祭が共存するホーチミンの街角から

2025 年 4 月 30 日、ベトナムでは「南部解放・国家統一 50 周年」を記念する国家行事がホーチミン市を中心に盛大に催されました。1975 年のこの日、かつてのサイゴンが陥落し、長きにわたったベトナム戦争が終結。南北が統一され、現在の社会主義国家ベトナムが誕生した歴史的な節目です。ホーチミン市に在住し、日々この街の動きを見つめる者として、私はこの一大イベントの熱気と意義を肌で感じることができました。

式典に向けた準備は、実に一週間以上前から本格化していました。市内中心部では軍事パレードのために主要道路が長時間にわたって封鎖され、戦闘機やヘリコプターが連日爆音を響かせながらリハーサル飛行を繰り返し、さらには式典当日の大砲による祝砲に備えて「マンションの窓を開けておくように」といった通達まで出されるなど、市民生活への影響は少なからずありました。こうした強い統制は社会主義国家ならではの特徴とも言えます。にもかかわらず、多くの市民が混乱することなく、むしろ積極的に協力していた様子がとても印象的でした。通行制限や騒音、祝砲への備えに文句を言うどころか、多くの人が笑顔でリハーサルに参加しました。国旗を手に家族で観覧場所に並ぶ人々、アオザイを着て写真を撮る若者たちの姿は、単なる義務的な動員ではなく、国家の記念日を皆で楽しむ祝祭としてこの行事が受け入れられていることを物語っていました。

筆者撮影：サイゴン川沿いに配置された大砲

歴史を乗り越え、未来を祝う人々の姿

この背景には、ベトナムの人々が過去の痛みを単に忘れたわけではなく、それを乗り越え、今の平和と成長を前向きに受け止めている姿勢があります。ホーチミン市はかつて南ベトナムの首都サイゴンであり、南部解放という言葉には本来、複雑な感情が含まれているはずです。しかし今や、それすらも歴史の一部として過去のものとし、未来に目を向けている。50 年という時間が生んだ成熟が、式典全体を包んでいたように感じました。

式典当日は早朝から市中心部が熱気に包まれ、政府高官による演説や戦没者への黙祷、軍の行進に加えて、若者たちによる現代的なパフォーマンスやドローン演出など、伝統と先進性が融合した構成となりました。夜にはサイゴン川に美しい花火が打ち上げられ、まさに都市全体が一つの舞台となったかのような一日でした。

筆者撮影：ホーチミンの夜空を彩る花火

今後の日本とベトナムの関係進展を願って

日本とベトナムの関係は、この 50 年の間に大きく進展し、現在では経済、教育、人材、観光といった多方面で密接な交流が続いています。兵庫県においても、技能実習生や留学生、さらにはベトナム進出企業とのネットワークが広がり、日越のつながりは年々深まっています。ひょうご国際ビジネスサポートデスクとして、私はこの街の変化と活力を間近で感じながら兵庫とベトナムをつなぐ役割に日々誇りを持って取り組んでいます。今回の南部解放 50 周年は、過去と未来を一体化させたベトナム社会の現在地を示す、非常に象徴的な瞬間でした。歴史的な転換点を祝う街の中で、この国の前向きさとしなやかさに大きな希望を感じました。そして、日本・兵庫県とのさらなる連携の可能性に胸を躍らせながら、夜空を彩る花火を見上げました。

ひょうご海外ビジネスセンターは、世界10 カ所に海外展開現地相談窓口として「ひょうご国際ビジネスサポートデスク」を設置しています。
本通信は、毎月1回、各デスクから寄せられる現地トピックスを順にお届けするものです。

【発行　公益財団法人ひょうご産業活性化センター　ひょうご海外ビジネスセンター】